

---

# 天界3丁目9番地 癒され荘

makka

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天界3丁目9番地 癒され荘

### 【コード】

N29690

### 【作者名】

m a k k a

### 【あらすじ】

12月25日。この日、史上初の珍事が起こる・・・

第1話 12月25日 前半(前書き)

はじめまして。makkaと申します

初投稿なのでおかしな部分もあると思いますが、暖かい目で見てください

第1話 12月25日 前半

12月25日。一体何の日でしょう？

キリストの誕生日？ちがう

恋人たちが甘いひと時を過ごす日？ちがう

サンタがプレゼントを届けに来る日？ちがう

「独り者がモテ男を呪う日じゃああああ！！！」

いえずきりお井江洲桐生18歳。恋人いない歴18年

「だからって俺まで巻き込む必要ないだろ！！！」

まりあよしのぶ真理亜吉信18歳。現在彼女なし

「うるさい！今日はとことんやるぞ！」

「何が悲しくてクリスマスにぶよぶよやらなきゃなんねーんだよ・・・」

二人は昔っからの幼なじみだ。小学校。中学校。高校もすべて同じところだ

そんな二人ももうすぐ卒業・・・

桐生は就職。吉信は進学。二人は別々の道を歩き始めている  
こんな風に馬鹿やれるのもこの冬が最後かもしれない・・・

「くたばれ！16連鎖！」

「てめっ！やりやがったな！相殺してやる！！！」

午後11時半。25日も終わろうとしている。

二人はこの日に死ぬとも知らずに・・・

第2話 12月25日 後半(前書き)

死ぬ?どういづらうちや

第2話 12月25日 後半

同日、同時刻、桐生家にて

「さてと・・・毎年毎年この作業はメンドウだよ・・・」

一人の少年はそう言いながらせつせと何かをしている

もちろん、二人は何も知らずに・・・

「桐生く。もう疲れたしさ、寝ようぜえ」

「バーカ！今日はとことんいくぜ！」

「ハイハイ。わかりましたよ・・・って。」

吉信の口が大きく開いた。まるで何かとんでもないものを見ているかのように。

「?どうした。雨漏りでも見つけたか・・・は？」

二人は同じモノを見ている。

背中に翼が生えている少年だけを

「だだだ誰だお前は！俺の家には金目のものはねえぞ!!」

桐生が叫んだ瞬間、少年はこちらを見た

「・・・僕に言ってるの？」

「お前以外に誰がいるんじゃないやああ!!」

桐生がそう言い放った

「・・・まじで？僕の姿見えるの？」

少年は仰天している

「???何言ってるんだお前」

桐生も困惑している

「まてよ。お前ってまさか・・・天使？」

吉信がポツリといった

途端に桐生は笑いはじめた

「お、お前何言ってるんだよ!!馬鹿か？」

少年は言った

「はい、僕は天使です」

「・・・マジで？」

「本当です」

少年は大きくうなずいた

「というか、ここはイエス様のお宅ですよね」

少年は恐る恐る訪ねた

「まあ・・・そうだけど」

桐生と吉信は声をそろえて行った

「よかった。じゃあここで良かったんだ・・・」

少年はほっとしているようだ

「何が良かったんですか？」

吉信が訪ねた

「そんなことあなたがたには関係ありません。早くイエス様の家から出てってください」

「はあ？ここ俺の家だけど？」

桐生がそう言った瞬間、少年の表情が曇った

「・・・今、何と？」

「だ〜から！ここは井江洲桐生の家なんだよ！」



「バカなことを言わないでくださいよ！ここはイエスキリスト様のお宅でしょう！？」

「違っつて言ってるだろ！！」

桐生もイライラしている

「なんてことだ・・・これじゃあ天界から追放されてしまう・・・」

「そんなことよりも俺寝ていいかな・・・」

吉信は場違いである

少年はぶつぶつと何か言っている

「・・・てことは・・・つまり・・・ああして・・・ああもっ！！」

「どした？」

桐生も冷静になった

「やむを得ません・・・あなたたちを天界に連れて行きます」

「え？何が？」

「つべこべ言わないでください！！もう25日も終わってしまします！この方法しかないんです！」

桐生たちは困惑している

「いや。だからどうしよう・・・」

「セイ!!」

少年は叫んだ

瞬間、二人の意識は途絶えた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2969o/>

---

天界3丁目9番地 癒され荘

2010年10月14日16時31分発行